

**「家読体験記」が届きました。**十日町情報館の広報紙「よむよむ」には、2回に分けて掲載させていただきます。

子どもが産まれてから絵本が大好きになったのは私、母。0歳の頃から、情報館の「おはなしたまてばこ」へ参加し、皆勤賞をいただくくらい！ 読書通帳に読んだ本を、子どもの反応を☺、○で表し、コメントを書いています。1歳までに100冊は読み聞かせをしました！ 家の本棚の表紙が見える部分はいつも20冊ほどの借りた本で埋まっています。好きな本は何度も借りて読み、本当に好きな本は買うようにしています。娘も今は4歳。変わらず月、30～40冊の本は借りて読み聞かせています。親が借りるのではなく、必ず一緒に連れて行き、自分で選ばせるようにしています。前は、私が「これは？」と聞くことが多かったのですが、最近は、前に読んで面白かった本、表紙から面白そうな本、「これ読んで！」と言って少し読み聞かせると選ぶ、というように自分で選べるが増えてきました。2歳の弟は車が好きなので、弟用の本も選んでくれています。保育園から借りてくる本も親も面白そう！ と思える本を借りてくるので、選ぶ力がついてきたのかなと思うこの頃です。

本は、林明子の「おつきさまこんばんは」。娘にとって初めての本でしたが、弟も大好きです。娘2歳の誕生日に贈った「はじめてのおつかい」「あさえとちいさいいもうと」も大好きで、今もよくセリフを真似しています。私も林明子のファンになりました。生活の中で絵本に出てきた言葉を真似したりすることが多々あり、楽しい時間でもあります。

今年はコロナが広がり、読み聞かせを聞く機会が減ってしまいました。親が家で読み聞かせをするのも大切ですが、家以外の場で、みんなと一緒に、絵本を読み聞かせる場の雰囲気を感じ、声の響きを直接感じながら聞くことの大切さや良さ、楽しさをひしひしと感じます。またいつか多くの人と一緒に絵本を楽しむ機会が来ることを心から待ち望んでいます。(齋藤明里34歳 子；2歳と4歳)

お子さんと共に絵本を楽しんでいる様子が伝わります。ぜひ、おはなし会が実現できる日が来るといいです。

**図書館担当者研修会中止** コロナウィルス感染拡大のために図書館担当者研修会が中止になりました。私が、「子ども読書推進に関わる現状と課題」をお話させていただく予定でした。その資料を添付しますので、目を通していただければありがたいです。その中に書いてありますが、現在、子ども読書活動推進計画を策定中です。よりよい計画ができるようご意見がありましたらお寄せください。



<上川西小学校>



<須原小学校>

### 楽しい読書出前授業

11月は、魚沼市立須原小学校と長岡市立上川西小学校に出前授業で行きました。須原小学校は5回目、上川西小学校は7月に続いて2回目でした。須原小学校では、子どもたちからおすすめの本を紹介してもらいました。どちらの学校でも20冊以上の本の紹介をしてきました。

少しでも子どもたちと本とのいい出会いの手助けができれば…と思います。冬場も希望があれば出前授業に伺います。